

おおむた 市議会だより

第219号

令和3年度

11月臨時会・12月議会

令和4年(2022年)2月1日発行

インターネット議会中継配信中
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



西鉄電車「ジャーフ号」運行中！

大牟田の魅力を広くPRするため、市の公式キャラクター「ジャーフ」がデザインされたラッピング電車「ジャーフ号」が2月末まで西鉄福岡駅と大牟田駅間を運行しています。

【主な記事】

- 市民の皆さんの意見・要望を市長に提出し、回答を依頼しました／ぎかいの話題(2ページ)
- 決算特別委員会及び常任委員会で合意形成を図った意見・要望／ぎかいの話題(3ページ)
- 大牟田市ともだちや絵本美術館オープン／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

市民の皆さんの意見・要望を市長に提出し、 回答を依頼しました

各校区の地域コミュニティ組織役員等との意見交換や、市内高校等の学生との意見交換を行いました。

大牟田市議会では、毎年、市民の皆さんからの御意見などをお聞きする議会報告会を行っています。今年度の議会報告会は、市内全地域を2か年かけて実施する中での1年目として、主に北部地域を中心として各地域との意見交換会を行いました。また、それと並行して、より広く意見を伺いたいという観点から、初めての試みとなる市内の高校・高専・大学の学生との意見交換会も実施しました。

各校区の地域コミュニティ組織役員等との意見交換

●主なテーマ

1. コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティづくり

●開催状況

開催	対象校区(小学校)	会場	参加
10/20	白川、平原、高取	総合福祉センター	9名
10/21	三池、羽山台、銀水	三池地区公民館	9名
10/22	上内、吉野、倉永、手鎌	吉野地区公民館	12名

●市長に要望し回答を求めているもの(要約)

《コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティづくり》

- ・地域活動については、効果的な取組が進んでいないため、他市の事例等も参考に地域ににぎわいが戻るよう、行政が地域と一緒に取り組んでほしい。
- ・地域組織への加入については、自治会のまち協への参加が進まず、未加入組織への情報周知等の対応にも苦慮している。公民館組織の後継者育成にも支障をきたしていて、加入率を上げるどころか、現状維持も難しいため、市の力添えがほしい。
- ・避難所の運営については、地域のことを最もよく知っているのは地域住民であるため、避難者の情報共有ができるように工夫して避難所でもっと動きやすい状況を作ってほしい。



市内の高校・高専・大学の学生との意見交換

●主なテーマ

1. あなたが考えるまちの魅力とは

●開催状況

開催	対象校	会場	参加
10/20	ありあけ新世、大牟田北、三池、三池工業(高校)	大牟田市役所	21名
10/29	大牟田、誠修、明光学園(高校)	大牟田市役所	18名
10/30	帝京大学	帝京大学	12名
11/2	有明高専	有明高専	5名

●市長に要望し回答を求めているもの(要約)

《魅力あるまちに関すること》

- ・学生と市が連携したまちづくりの推進については、学生が学校で学んだ知識や技術をまちづくりに生かせるよう、産学官連携による研究開発等を積極的に進めるとともに、学生と市が協働する場をつくったり、学生主体の事業、イベント等の取組を支援してほしい。



議会報告会(意見交換会)でいただいた意見・要望は、他にもたくさんありますが、詳細については市議会のホームページを御覧ください。



決算特別委員会及び常任委員会で合意形成を図った意見・要望(要約)

令和4年度予算案や事業等に反映する必要があると思われるもの

【決算特別委員会】

決算特別委員会において各委員から出された意見・要望を集約した結果、全会派及び無所属議員全員による積極的な賛同により合意形成を図ったものについて、市長に要望し回答を求めました。

●新型コロナウイルス感染症対策は事業者ニーズを捉えて早急に

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策については、国が令和2年度第3次補正に予算を計上していることや感染者が低年齢化している現状も踏まえ、感染症対策の徹底を図りながら、保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)や感染防止用の備品購入経費、また、安心・安全な保育の提供を図る上でも有効なICT化推進事業、保育体制強化事業など事業者ニーズを捉えながら、早急に対応してほしい。



【市民教育厚生委員会・都市環境経済委員会】

両委員会において、それぞれ所管部局から説明を受け、委員間討議などを行い全委員の合意形成を図った総意として以下の項目について、市長に要望し回答を求めました。

【市民教育厚生委員会】

●子育て世代包括支援センターの体制整備

子育て世代包括支援センターへのソーシャルワーカーの配置については、複雑で多様化する相談へ対応できる体制整備をさらに進めるため、ソーシャルワーカーの処遇改善が必要であることから、人件費など必要な予算を確保してほしい。



●待機児童解消等の取組を

学童保育所・クラブの待機児童解消や預かり時間延長、及び夏休み期間の預かりについては、人材確保に関する課題解決のため、他市の運営事例や利用料等を調査し、支援員の処遇改善を検討するとともに、人件費などの必要経費を予算として確保した上で、その経費を含めた具体的な条件を指定管理者や受託者へ提示するなど、事業者の理解を得ながら取組を進めてほしい。



【都市環境経済委員会】

●重要な観光振興の指針として

観光基本計画の策定に当たっては、広い視野を持つとともに、市内の他部局課との連携や協議も行いながら、次の項目に取り組んでほしい。

1. 有明海沿岸道路沿線の県・市・町との広域連携
2. 「食」などを活用したターゲットの絞り込み
3. 交流人口の拡大につながるコンベンション機能の充実
4. 行政と民間事業者の役割分担を明確にし、体制の強化を図った観光基本計画の推進
5. 大蛇山まつりの開催方法など課題の整理等への着手

※項目は要約



ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■ 期末手当の支給割合引下げ

【臨時会】

令和 3 年度 11 月臨時会は、11 月 29 日に招集され、1 日間の会期で運営しました。

審議した議案は、人事院勧告に準じ改定される議員報酬、市長、副市長、教育長、企業管理者及び一般職等の期末手当等に係る条例議案 5 件でした。

いずれも可決して本会議を閉会しました。

■ 令和 3 年度大牟田市一般会計補正予算などを可決

【12月議会】

令和 3 年度 12 月議会は、12 月 6 日に招集され、12 月 17 日までの 12 日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、排水ポンプ車に係る財産の取得の専決処分の議案 1 件、主に

新型コロナウイルス感染症対策関連経費、災害からの復旧・復興と防災力の強化に係る経費、及び国の経済対策である子育て世帯臨時特別給付金の先行給付に要する経費案を計上した令和 3 年度大牟田市一般会計補正予算の予算議案 2 件、ごみ処理手数料に係る金額等の一部改正などの条例議案 8 件、指定管理者の指定などの議案 10 件、人事案件 1 件、及び意見書案の発議 3 件の計 25 件でした。

本会議では、有料指定ごみ袋の見直し、学生とともに取り組むまちづくり、小中一貫教育などの諸課題に 12 人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議 3 件以外の議案をそれぞれ承認、可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌(10 月～12 月)

【10月】

- 5日 都市環境経済委員会
- 11日 広報広聴委員会広聴部会
- 12日 広報広聴委員会広報部会
- 18日 市民教育厚生委員会
- 26日 市民教育厚生委員会

【11月】

- 1日 広報広聴委員会広聴部会
- 4日 各派代表者会、議会運営委員会
- 8日 市民教育厚生委員会、広報広聴委員会広聴部会
- 9日 都市環境経済委員会
- 12日 広報広聴委員会広聴部会
- 16日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 17日 広報広聴委員会、広報広聴委員会広聴部会
- 19日 各派代表者会
- 26日 各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会、都市環境経済委員会
- 29日 第 4 回臨時会本会議、各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会、都市環境経済委員会

【12月】

- 1日 市民教育厚生委員会
- 3日 総務委員会、都市環境経済委員会
- 6日 第 5 回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
- 10日 第 5 回定例会本会議〔質疑質問、議案第 68 号のみ採決〕、各派代表者会、議会運営委員会、市民教育厚生委員会
- 13日 第 5 回定例会本会議〔質疑質問〕
- 14日 第 5 回定例会本会議〔質疑質問、請願等調整委員会〕
- 15日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 17日 各派代表者会、議会運営委員会、第 5 回定例会本会議〔採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会



委員会メモ



市民部窓口業務改革計画(案)の策定

【総務委員会】

12 月 3 日の委員会で、市民部における窓口業務の当面の取組について、市民部窓口業務改革計画(案)を作成した旨の説明を受けました。

死亡後の手続きをワンストップで案内するおくやみコーナーの設置、証明書等交付手数料のキャッシュレス決済など、令和 4 年から随時導入していく予定となっています。

電子図書館の導入について

【市民教育厚生委員会】

12 月 1 日の委員会で、電子図書館の導入について、趣旨、導入冊数、導入経費及びスケジュール等の説明を受けました。

今後は、4 月以降からの運用が開始予定であるとともに、有明圏域定住自立圏域における広域連携による運用も検討されてく予定です。

ごみダイエットの推進

【都市環境経済委員会】

12 月 3 日の委員会で、有料指定袋を見直して、現状より小さいサイズへの切り替えを促し、ごみの減量化・資源化を促進する旨の説明を受けました。

これを受け、有料指定袋のサイズ・価格やその見直し時期等について質疑を交わしました。

ぎかいの話題

議案等名 議 員 名 議 案 等 名			自民・未来クラブ										公明党議員団				民主・護憲 クラブ				無所属			賛 成 数	審 議 結 果		
			徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂（議長）	森遼	森竜子	山口雅夫	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝			北岡あや	崎山恵子
11月臨時会	議案第44号	大牟田市会計年度任用短時間勤務職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第46号	大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
12月議会	発議第23号	日本政府に、核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決
	発議第24号	女性と子供の自殺増を受けた自殺対策を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決
	発議第25号	気候変動による温暖化対策を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決
	議案第56号	大牟田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を × と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意

11月臨時会	議案第 43 号	大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 45 号	大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 47 号	大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
12月議会	議案第 48 号	専決処分について（財産の取得について（排水ポンプ車））
	議案第 49 号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第 50 号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 51 号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 52 号	大牟田市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 53 号	大牟田市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく措置に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
	議案第 54 号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 55 号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 57 号	大牟田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 58 号	指定管理者の指定について（手鎌学童保育所）
	議案第 59 号	指定管理者の指定について（明治学童保育所）
	議案第 60 号	指定管理者の指定について（大牟田市障害者等文化体育施設サン・アビリティーズおおむた）
	議案第 61 号	指定管理者の指定について（大牟田文化会館）
	議案第 62 号	指定管理者の指定について（大牟田市立三池カルタ・歴史資料館及び大牟田市立図書館）
	議案第 63 号	指定管理者の指定について（大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた）
	議案第 64 号	指定管理者の指定について（大牟田市延命プール）
	議案第 65 号	市道路線の認定及び廃止について
	議案第 66 号	大牟田・荒尾清掃施設組合規約の変更について
	議案第 67 号	地方独立行政法人大牟田市立病院第4期中期目標について
	議案第 68 号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第 69 号	大牟田市公平委員会委員の選任について〔坂口一氏〕

インフォメーション

■次の定例会は2・3月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで2月下旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも2月下旬から閲覧・検索できます。

代表質問

市長が目指すまちづくりの実現に向けて



動画視聴



自民・未来クラブ
中原 誠悟 議員

就任2年を迎えての 市長の思い

問 市長就任2年の総括と現在の所信を聞きたい。

答 令和2年7月豪雨で大きな被害を受けたみなと校区の排水路拡張や三川ポンプ場の機能増強等に取り組みながら、地域支え合いセンターによる被災者への支援も継続中。

コロナ対策は、希望する市民へのワクチン2回接種をほぼ終え、中小企業や飲食店への支援など、地域経済を下支えする取組も進めてきた。

今後も復旧・復興とコロナ対策とともに、まちづくりに全力で取り組んでいきたい。

若者が夢をもって働く まちづくり

問 地域企業のIT導入支援等に取り組む中、イノベーション創出事業にかける思いは。

答 本市のポテンシャルを十分生かして人や企業を呼び込み、分野の垣根を越えた活発な交流やチャレンジによるイノベーションを創出することで、若者が夢をもって働くまちづくりの実現に取り組む。

再発言 市長が先頭に立って若者にも魅力的なまちづくりの推進を。

子育て世代に魅力的なまちづくり

問 こども庁創設の検討や

こども基本法（仮称）の制定への提言など、国の動きがある中で、本市も子ども・子育てに関する条例を制定する必要があるのでは。

答 国の動向を注視し、子供に関する基本的理念や施策の方向性を定める条例の制定に向けて検討を進めていきたい。

再発言 子育て世代に魅力的なまちづくりを加速化するためにも、条例の制定が必要。

ごみの減量化・資源化の推進

問 有料指定ごみ袋のサイズ・単価見直しの考え方は。

答 プラスチック類等の分別で家庭ごみの30%減容化が可能と考え、現行のものから30%小さいサイズ設定とした。ただし、40ℓの袋のみ剪定物等の排出を考慮してそのままのサイズとした。

また、一つ小さいサイズの袋に切り替えると費用負担が少なくなることや、ごみ処理経費は引き続き一定の負担をお願いする必要があることなどから、手数料は1リットル当たり1.2円の設定とした。

再発言 ごみ袋は市民生活に

密接に関わるため、見直す理由やサイズ・手数料等の丁寧かつ確実な周知を要望する。

ICT教育の充実

問 コロナ禍における児童生徒の学習機会の確保に向け、家庭でのオンライン学習をどのように進めていくのか。

答 オンライン学習の試行により、児童生徒の健康状態等の把握やクラスで同じ画面を共有し学習を行う効果的側面と、集中力が持続しにくいという課題が分かったため、授業展開の工夫が必要と考える。

再発言 家庭でのオンライン学習には通信費が必要。過度な負担とならぬよう要望する。



市民部窓口業務改革計画

問 おくやみコーナーとは。

答 死亡に伴う様々な手続をワンストップで御案内する窓口。全てを処理することは困難だが、御遺族の負担の軽減に取り組んでいきたい。

再発言 全ての手続きをワンストップで済ませるには様々な課題があると思うが、検討を継続し、市民に寄り添った優しい窓口の推進を要望する。

安心・安全な住みやすい大牟田市を目指して



新型コロナ ワクチン 3回目接種

問 3回目のワクチン接種について、間隔を短縮するとの首相の発言もあり、接種

時期が早まる可能性があるが、体制整備や準備はどうか。

答 市としては、国の動向などを注視するとともに、適切な情報発信に努め、市民が安心して安全に接種できるように取り組んでいきたい。

おくやみコーナーの設置

問 多岐にわたる死亡に関連する手続きをワンストップで案内するおくやみコーナーの設置について聞きたい。

答 死亡に関する手続きは多岐にわたるため、少しでも御遺族の負担を軽減するため、必要な市役所内の手続きをワンストップで案内するおくやみコーナーを設置する。

手続の流れについては、死亡届の提出の際に、必要な手続等が記載されている「おくやみハンドブック」を御遺族に渡して、利用予約をしてもらう。そして、職員が事前に対象手続きを洗い出してきた庁時に聞き取りを行い、必要な手続の確定とともに、申請支援システムを使って手続に必要な届出書を作成し、窓口の場所を案内するものとなる。

災害に強いまちの構築

問 新開町及び健老町地区は冠水が顕著だが、今回、同地区で行われる主な工事内容は。

答 新開町地区は、雨水を大牟田川へ直接排水する新たな排水管の整備を行うとともに、有明海の潮位が高いときに強制的に排水するポンプの整備を計画している。なお、ポンプの排出能力は1分間に25トンのものを予定している。

健老町地区は、道路排水が流れ込む水路の断面が不足しているため、水路を拡幅する予定。

マイナンバーカードの 新規取得

問 国がマイナンバーカードの利活用を掲げているため、新規取得が増加すると思うが、今後の対応について聞きたい。

答 本市のマイナンバーカードの交付状況は、令和3年11月1日時点で4万3,807枚交付しており、交付率は39.1%となっている。

現在、申請受付、交付体制の整備を検討しており、年度内に運用を開始する24時間365日交付予約ができるシステム等による円滑なカード交付を推進したいと考えている。



マイナンバーカード

補正予算と市長の政治姿勢

問 新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が日本でも確認され、経済の回復が心配であるが、市政のトップとしての市長の思いを聞きたい。

答 世界における新たな変異株の広がりなど、第6波への懸念もあることから、今後も気を緩めることなく、市民生活や地域経済の活性化に精いっぱい取り組んでいく。

事業者支援の取組状況

問 現在の事業者支援について、取組状況を聞きたい。

答 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者には、国・県の支援金に市独自の上乗せを行い、まだ国・県の支援がなかった段階においても飲食店などへの家賃補助を行うなど様々な支援を行ってきた。

また、地域の商品券も切れ目なく発行いただき、市内での消費増の取組も進めるとともに、中小企業の新商品開発などにも支援を行っている。

代表質問

次代を拓く子どもたちへ～教育予算の拡充、主権者教育の充実、多様な個性への配慮を～



教育は未来への先行投資、子どもたちの学びのためもっと教育予算を

問 本市の教育予算比率は、近隣他市に比べて長年低いが、これについて市長の考えは。

答 ESDなど特色のある教育の事業費等を増額し、有利な財源を積極的に教育関連事業に活用している。今後もしっかり対応したい。

再発言 学校配当予算が少なく必要な教材等も買えないとの声がある。各学校の現状を調べ、予算の拡充を要望する。



(玉川小 芋掘り)

新型コロナウイルス感染症 感染再拡大の備えやワクチン再接種は

問 感染の再拡大に備えてどのように準備されてきたのか。

答 福岡県では1,482の病床と11施設2,234室の宿泊療養施設を確保されている。

市の支援としては、自宅療養者へのパルスオキシメータ

一の貸出しや、親族等から支援を受けられない自宅療養者や濃厚接触者等への生活物資提供事業を行っている。
また、12月からワクチン

の追加接種も開始している。

再発言 軽症でも自宅療養とならぬよう県や医療機関と連携し備えることが必要。

また、ワクチンを接種できないなどの未接種者への差別や不利益がないよう、国や県へ、必要な人が無料でPCR検査を受けられる体制づくりを急ぐよう訴えてほしい。

政治や選挙への無関心は民主政治の危機、しっかりと主権者教育を

問 本市の投票率の傾向と、「明るい選挙推進協議会」における主権者教育の取組の現状と課題は。

答 若い世代の投票率が低いため、若者の声が政治に届きにくくなっているのが課題。

同協議会では、期日前投票の立会人に大学生が参加する取組等を実施。また、親の投票に同行した子どもは成長後の投票割合が高いという傾向が指摘されており、親子参加型投票の普及にも努めたい。

学校での主権者教育の重要性を求める文科省、日々の学校生活も見直しを

問 学校における主権者教育の現状は。

答 社会を生き抜く力や、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身につけさせることを目指し、具体的・実践的な指導に努めている。

再発言 日頃の学校生活の中で民主的な環境があるのかも重要。そのような視点での研究・検討も要望する。

多様な個性の子どもたち「人一倍敏感な子ども」も誰もが安心できる学校に

問 ハイリー・センシティブ・チャイルド——感覚や人の気持ちに敏感で傷つきやすい気質の子どもが約20%いると言われている。一層の理解や啓発の必要性があるのでは。

答 先生方には、正しい知識を身につけ、児童生徒の理解に努めていただく必要がある。今後も個に応じた適切な指導を心がけたい。

ごみの減量化・資源化、紙おむつのリサイクルも

問 エコタウン内に、紙おむつリサイクルの企業が立地され、大木町やみやま市でも紙おむつのリサイクルに取り組んでいる。本市も実施しては。

答 回収体制や衛生面に配慮した集積所の選定などの課題がある。今後も注視したい。

再発言 燃えるごみの量は、新たなごみ処理施設の規模、建設時の負担や稼働後の管理運営費用に影響する。今後、国内外の脱炭素化社会への動きも加速していくため、さらなるごみの資源化を要望する。

一般質問



子供の幸せ(ウェルビーイング)を実現し、貧困の世代間連鎖を断ち切るための施策

問 子供の貧困対策は喫緊の課題となっており、乳幼児期から社会的自立に至るまで切れ目なく、総合的に支援を推

進していくための「子どもの貧困対策計画」は既に全国の約半数の市町村で策定されているが、残念ながら、本市では策定されていない。速やかな策定が必要ではないか。

答 今後、「子ども・子育て支援事業計画」を見直す際に、子供の貧困対策について、内容を更に充実させていきたい。

再発言 家庭の経済格差に起因する子供たちの教育格差を解消していくための学習支援や、様々な困難を抱える子供たちが社会を生き抜く力を養

うための家でも学校でもない平日毎日通える居場所づくり、養育費の履行確保のための支援、子供を増え続ける虐待から守る見守り体制の強化等の課題の解決に向け、真に子供の幸せの観点から、目標・指標を設定した「子どもの貧困対策計画」を速やかに策定するとともに、PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）による子供の貧困対策を推進し、行政の透明性の確保と市民への説明責任を果たされるよう強く要望する。



観光を生かしたまちづくり

問 魅力的なまちづくりやシティプロモーションの展開に欠かすことができない観光基本計画の推進に当たって、市

長の見解を聞きたい。

答 新たな観光基本計画を策定し実施することにより、域内消費拡大による地域経済の活性化と本市のイメージのさらなる向上を図っていきたい。

“自分事”として捉える事ができる主権者教育を

問 教育の最大の目的は子供たちの幸福のためにあると考える。主権者教育も自分の身の回りの事を自分事として捉える事ができるように丁寧に取り組むべきである。

本市における主権者教育について聞きたい。

答 持続可能な社会の実現に向けて、主体的に社会参画しようとする力を育むために、地域や関係機関等と連携し、子供たちが他者や社会と関わる喜びや手応えを味わうことができる取組を進めていけるよう指導していきたい。

再発言 今年度は、市議会として、議会報告会を高校生や大学生を対象に行った。若者が政治に発言できる機会をつくることも大切と考える。



7月豪雨からの復旧・復興と減災のまちづくり

問 どの被災地でも共通するのは復興への道しるべと、どこをゴールとするかで、これからは復興に向けたまちづく

りのビジョンが必要。

本市では豪雨災害後すぐに「令和2年7月豪雨災害検証委員会」を立ち上げ、令和3年2月には提言書が出された。

同年4月には提言を踏まえた今後の防災・減災対策をまとめ、令和3年5月1日号の広報おおむたで市民に広く伝えているものの、それ以降、市からは取組の進捗状況が伝えられていない。

災害から1年半が経過する中、提言を踏まえたその後の防災・減災対策がどのように

なっているかを市民に分かりやすく伝えていくことは、市民の安心感にもつながり、対外的にも見える化できる。市の考えを聞きたい。

答 提言を踏まえた防災・減災対策のその後の進捗状況は、既に対応が完了した事業や、現在対応中の事業、あるいは継続した取組が必要な事業などがあり、それらを早急に取りまとめ、市民へ分かりやすい形でお知らせしていきたい。

再発言 早急に広報し、遅れている項目は早期に実施を。

一般質問



ふるさと寄付金・ 企業版ふるさと寄付金 確保への意欲と目標値

問 以前にも、ポータルサイト内の返礼品の写真や説明文を含めて、レイアウトの変更などを求めたが改善状況は。

答 入替が必要な写真の撮影はほぼ終了したが、文字入れ等の画像編集が遅れている。

再発言 より多くの寄付金獲得のため、画像への文字入れや説明文には寄付者の気を引くような表現を求める。

問 2020年度の企業版ふるさと納税の全国の寄付実績は110億円で、2019年度と比較して約3.3倍に増えている。

ふるさと納税制度のように、後発の自治体とならぬよう、今後どのような姿勢で取り組むべきか、市長の考えは。

答 通常のふるさと納税と同様に、財源確保の有効な手段の一つと考える。企業側も社会貢献や税制面でのメリットがあり、市が取り組むまちづくりに賛同してもらえよう十分説明する機会を捉え、寄付のお願いをしていきたい。

問 企業版ふるさと納税の来年度目標額を市長が示しては。

答 内閣府より地域再生計画の認定を受けており、この中で寄付上限を4年間で5億円としている。少しでも近づけるように努力していきたい。



公立中学校の制服選択制

問 ここ数年、女子生徒の制服にスラックスを取り入れる学校が増えている。動きやすさなどの機能面や性的少数者

(LGBT)への配慮の必要性など、時代の変化に合わせる視点から制服を見直してはどうか。

答 現在、中学校校長会の制服検討委員会において、制服のズボン・スカートの選択制を含めた議論をしている。

今後は、保護者の意見を聞きながら来年度の本格的な検討に向けて準備を進めている。

再発言 生徒が快適に過ごせるよう、学校再編を機に利便性やジェンダーレスに配慮した制服を選択できる制度導入

の検討をお願いしたい。

全国工場夜景サミット

問 全国工場夜景サミットに参加し、全国に大牟田をアピールしてはどうか。

答 本市の工場夜景については、他都市の取組の事例も参考にしながら、観光資源としてどのような活用ができるのか、市内事業者の意向なども十分確認し、その上で、全国工場夜景サミットへの参加についても検討をしたい。



教育現場のマンパワー増強や 教育委員会の体制強化のための 予算確保を

問 教育長が6月議会で大牟田の教育の課題として上げた学力アップへの取組状況は。

答 各学校の実態に応じた学

力向上プランの見直しや少人数授業、学習サポーターの派遣などに加え、全教科の教育講座等による教職員の授業力向上に取り組んでいる。

問 現状分析とその情報共有、学習サポーターをはじめとするマンパワーの充実、指導員の配置による先生の授業力アップ、そしてこれらを推し進めるための教育委員会の体制強化が必要だと思うが、市長の考えは。

答 様々な施策、体制づくりをできる限り支援していく。

議会との連携を密にし、 庁舎整備をよりよいものへ

問 これまでの庁舎整備に関する議論の経緯を踏まえ、コストや積算根拠などの情報開示を積極的に示してはどうか。

答 今後、議会や市民へ積極的に分かりやすい情報を示しながら検討を進めていきたい。

再発言 庁舎跡地のまちづくりへの活用といった新しい可能性、選択肢も模索しながら、よりよい庁舎整備へ向け、議会と連携し取り組んでほしい。

一般質問



地域おこし協力隊の活用

問 財政負担が少なく、地域おこしや任期後の定住にもつながるメリットある地域おこし協力隊を活用しない理由は。

答 現在募集はしていないが、必要に応じ活用を図っていきたいと考えている。様々な課題に外部人材の専門的な能力や経験をどう活用していくのか、今後も検討を行っていく。

焼石山公園西側産業廃棄物埋立処分場の現状

問 平成9年3月末の廃棄物搬入中止後、整地・覆土もされず放置されているが現状は。

答 令和2年度から指導監督権限が県に移行した。県に確認したところ、事業者との連

絡が取れず、整地・覆土のめどは立っていないとのこと。

問 状況が変わらないまま24年が経過し、地域も地権者も大変懸念している。以前県の環境部長だった市長の考えは。

答 適正な管理が行われていないことは問題であると考え。県に対して現状の問題をしっかりと伝え、解決に向けた協議を行っていききたい。

再発言 市には許可を出した責任がある。引き続き県と連携して行政指導などを続けてもらいたい。



安心して通える、意見が言える学校に

問 不登校は子供たちが発しているSOS。子供にとって学校に通うのは権利であり、子供たちが安心して過ごせる、

意見が言える、意見を聴く学校になるよう要望するが、小中一貫教育で不登校が減る根拠となるデータはあるのか。

答 具体的公表データはない。

再発言 不登校児童生徒の支援のため、中学校でも少人数学級でクラス数を増やし、先生を増やすことを要望する。

結論ありきではない新ごみ処理施設の検討を

問 新ごみ処理施設の整備に国の循環型社会形成推進交付金を活用予定だが、要件の高

効率エネルギーの回収を行うため、多くの自治体がプラスチックごみを燃やし続けている。焼却炉は高価格で、補修費等の維持管理費が財政を圧迫する。重い市民負担を抱えたRDF発電事業の二の舞にならないか。焼却炉に頼らない処理方法の検討が必要では。

答 ごみの減量化、資源化を進めているが、最終的に焼却を要する可燃ごみがあり、ごみ焼却施設整備の必要がある。

再発言 燃やす前の分別を真剣に考えるべきではないか。



行政評価におけるPDCAサイクルの実践・運用

問 施策・事業の評価・検証シートを使った評価の実態は。

答 市民アンケート結果、事業の進捗率や活動量などの指

標の達成状況とその要因を分析し、評価している。

問 事業の検証はC（チェック）が重要だが、今後どうPDCAの徹底に取り組むのか。

答 令和3年12月実施の行政評価の職員研修で、チェック体制の強化・充実を図りたい。

学生(高校・高専・大学)と連携したまちづくりの推進

問 学官事業の実績と評価は。

答 地域課題の解決に向けた学生等のまちづくりへの参加、高等教育機関等の持つ専門的

知識の本市事業へ活用など、知見や人材が本市のまちづくりに寄与していると考え。

有明圏域定住自立圏推進協議会の取組における重要業績評価指標(KPI)

問 地域資源を活かした広域観光振興事業では、地域資源の魅力向上と交流人口の増加を促進するとしているのに、その指標がプロモーション事業の回数とは理解できないが。

答 KPIを具体的な成果を示すアウトカム指標に改善するよう協議を続けていきたい。

※アウトカム指標…施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標

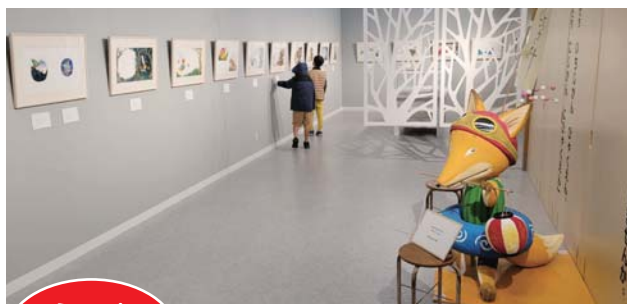
おおむた自慢

日本初！動物園内にある絵本美術館 大牟田市ともだちや絵本美術館オープン



令和3年10月1日、開園80周年を迎えた大牟田市動物園内に大牟田市ともだちや絵本美術館がオープンしました！

絵本に関する展示はもちろん、絵本を自由に読めるスペースがあったり、「家具の動物園」と題して、動物園内にいる動物をモチーフにした家具が並んでいたり、くつろぎながら楽しい時間を過ごせる工夫がたくさんある美術館です。



えほん ギャラリー

大牟田市出身の絵詞作家・内田麟太郎さんの「おれたち、ともだち！」シリーズをはじめとした原画を展示。



ともだち ルーム

館内には1,500冊以上の絵本があり、第2・第4土曜日には読み聞かせイベントを開催。



のんびり ホール

大きなソファやテーブルで、絵本を読みながらゆったりとくつろげるスペース。南向きで見晴らしも良く、飲食OK！



ミュージアム ショップ

BESTAMIKA: ベスタミーカ
「動物に優しい」という名前のショップ。商品を並べる棚などには閉校した学校の備品を再利用。

スタッフさんにお話を伺いました

オープンからたくさんの方に御来館いただいています。子供の時から図書館に通い、1日3冊、本を読んでいたくらい本が好きなので、毎日楽しく働いています。

お客様から入館してすぐ「かわいい〜」、帰り際には「いいところできたね〜」と言われて嬉しいです。2月には電車、汽車の絵本のイベント、4月からはギャラリーの展示変更も予定しています。

情報はホームページ、Facebookでチェックしてください。



公式
ホームページ



Facebook



兼行さん

TEL

0944-32-8050

開園時間

9:30～17:00

(冬季12～2月は16:30まで)

※閉園の1時間前までに入園してください

休園日

毎月第2・第4月曜

(祝日および振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)

入園料

(下記の動物園の入園料が必要)
小・中学生 100円(団体料金 80円)
大人 500円(団体料金400円)
未就学児 無料

編集後記

議会報告会を始めて10年が経過する中で、市民の声を市長に届けてまいりましたが、若者の意見が反映し難いという課題もありました。そのため、今年度は新しい試みとして、市内の高校・有明高専・帝京大学の学生さんと意見交換を行ったところ、建設的な意見をいただきました。今後も様々な御意見をお聴きしながら、まちづくりに寄与できるよう努めてまいります。(T)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】徳永春男 【副委員長】平嶋慶二

【委員】境公司 塩塚敏郎 平山伸二 山田貴正

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所